

点座標保存

目次

1. パネル.....	1
2. 保存.....	2
3. 更新記録.....	3

1. パネル

ピックした点の座標を記録し、ポイントのシェープファイルに出力できます。



参照点を記録、ピック点を記録

現在の参照点、あるいはピック点の座標を、プログラム内部のリストに記録します。同時に「3D パネル」に表示している画像もプログラム内部に記録し、圧縮した画像を下のパネルに表示します。参照点の座標はツールバーに、ピック点の座標はウィンドウ下のステータスバーに表示している座標を記録します。

リストから削除

下側の「画像」「コメント…」について、選択されている行を削除します。

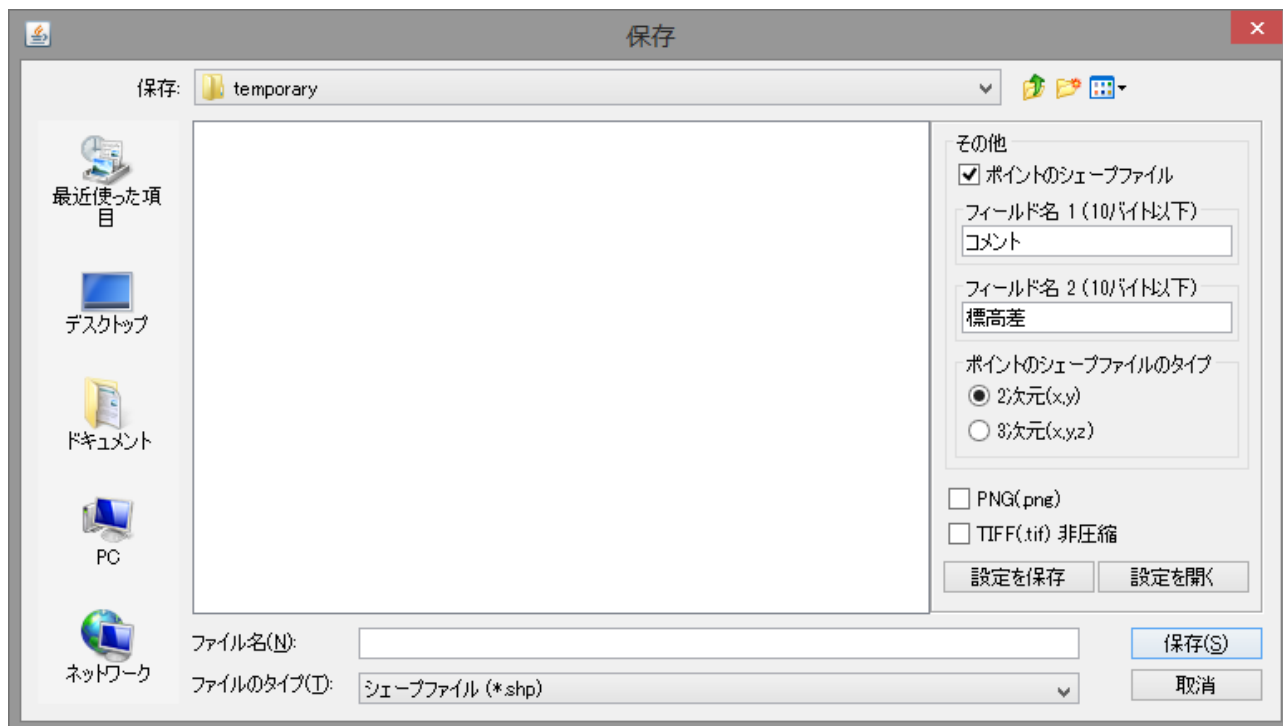
すべてリストから削除

プログラム内部に保持している点の座標や画像をすべて削除します。

保存

プログラムの内部に保持している点の座標とコメントを、ポイントのシェープファイルに保存します。

2. 保存



ポイントのシェープファイル

ON にしてください

フィールド名 1 2

画像の横の「コメント 1」「コメント 2」を記録するフィールド名を指定します。

ポイントのシェープファイルのタイプ

保存するポイントのシェープファイルについて、2次元か3次元かを指定します。



PNG(.png)、TIFF(.tif)

シェープファイルと同じフォルダに画像ファイルを作成します。画像ファイル名はシェープのファイル名を参照します。例えば、シェープファイル名が「test.shp」だと、「test_0001.png」「test_0002.png」…を作成します。画像ファイルの番号はシェープファイルのレコード番号と同じです。画像のサイズは、「3D 表示」パネルに表示されている 3D イメージと同じです。TIFF ファイルは非圧縮です。

複数の LOD が開かれている場合、標高差を計算し、その値を「コメント 2」に記録します。単位はメートルで少数点以下 3 桁までです。この値はそのままシェープファイルに記録します。

ポイントをシェープファイルのフィールドです。

列	型	フィールド名	内容
1	文字列	ダイアログで指定	パネルのコメント 1 にセットされた文字列
2	文字列	ダイアログで指定	パネルのコメント 2 にセットされた文字列
3	数値	X	点の X 座標(数学座標)、メートル単位で少数点以下 3 桁
4	数値	Y	点の Y 座標(数学座標)、メートル単位で少数点以下 3 桁
5	数値	Z	点の Z 座標、メートル単位で少数点以下 3 桁

画像	コメント1(入...	コメント2(入...
		0.096
		-0.142

3. 更新記録

2018/01/23

✓パネルに「ヘルプ」ボタンを追加、この説明を表示